

長生苑だより

長生苑だより
第6号



介護老人保健施設 長生苑
〒570-0005
守口市八雲中町3丁目12-3
TEL : (06)6908-7770
FAX : (06)6908-1910

当施設、長生苑では
入所者募集中です！
気になる方は下記の
QRコードからHPをチェック！！



施設運営方針

～日々進歩 やるべき事を 着実に～



撮影者 長生苑 北斗

世界に一つだけの物を

個性溢れる作品を

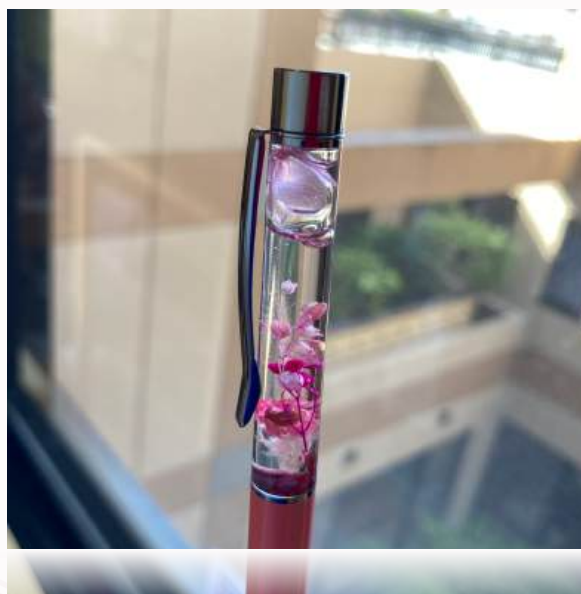
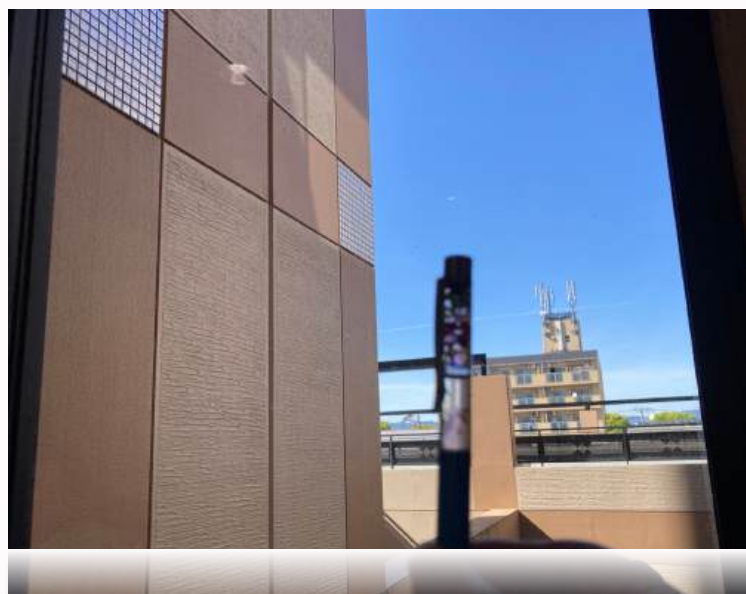
こんにちは！広報委員会委員長の北斗と申します。

当施設では、季節のレクリエーションとして「ハーバリウム」ボールペン作りを行いました。

ペンの一部が専用オイルで満たされた容器となっており、その中にお好きな色や形のお花を選びながら詰め、飾り付けます。

ご入所者様方には、とても楽しみながら作業していただけたようです。指先のリハビリや創造力の刺激にもつながったのではないのでしょうか。それぞれ完成したボールペンは、個性あふれる仕上がりとなり「こんなに素敵なのが作れた！」と笑顔になっておられました。

日々の生活の中で達成感や喜びを感じていただけるよう、これからも心を込めてレクリエーション活動を続けてまいります。



撮影者

長生苑 北斗

春のひととき　　桜と共に
三月三十日、ご入所者の皆様とお花見を行いました。
普段は屋内で過ごすことが多い皆様に、春の空気と桜を楽しんでいただこうと毎年企画している行事です。
当日は晴天に恵まれ「やっぱり外は気持ちいいね！」と笑顔が溢れました。
桜の木の下で記念撮影を行い、戻ってからは桜ラテや桜餅などお花見の特別食を味わっていただき、春を満喫しました。
たくさん笑顔に包まれた素敵なひとときとなりました。
来年も皆様と「春の訪れ」を楽しみにしております。

介護 藤本





撮影者

長生苑 北斗

桜日和のデイケア散歩

デイケアでは毎年お花見レクリエーションを開催しています。特別なお食事提供の他、近隣に出向いてのお花見を楽しんでいただいています。

今年も四月三日～九日まで、浄水場前の桜並木をご利用者様と共に散歩しました。

幸いどの日も天候に恵まれ、桜も綺麗に咲いていました。

参加された皆様に「とても気持ち良かった」とお喜びいただきました。

今後も引き続きご利用者様に楽しんでいただけるよう、定期的なレクリエーションや季節ごとの行事開催など、デイケア職員一丸となって頑張っていきたいと思っています。

デイケア介護 田畑



昭和レトロ風写真館



PENTAX K-3



皆さんお久しぶりです。カメラ好きの介護職員
水谷です。

今回は、先日実家へ帰省してきた際に撮った
写真とその時感じた事を記事にしてみました。
駄文ではございますが、ご一読いただければ
幸いです。あと今回使用したカメラですが、
PENTAX K-3（デジタル一眼です。ミラーレ
ス一眼が主流の昨今、あえての一眼レフです！）
ファインダー写り、シャッター音共に最高です！
今回の昭和要素は使用レンズにあります。

SuperTakumar55mmf1.8（1960~70年代製造）
オールドレンズといえば！の銘玉です。自然な
ボケ具合がたまりません！



撮影者

長生苑 水谷

実家へと帰省。高齢の両親と向き合う事で、改めて感じた介護サービスの価値

私の実家は、海と山に囲まれた、と言えば聞こえがいいですが、それしかない、寂しげですがとても穏やかな集落です。

母は現在八十歳前半。アルツハイマー型認知症の診断を受けてから二十年近くが過ぎました。父がずっと面倒を見てくれていたのですが、一年ほど前に圧迫骨折を起こしてしまい、暫く病院へ入院する事になりました。

父は現在八十歳半ば。以前起こした脊柱管狭窄症の後遺症も出ているようで、最近身体の不調をよく訴える様になっています。

母が認知症になってからというもの、父も頑張って面倒を見てくれていたのですが、歳をとるにつれ、父自身もしんどくなっていく中で、母もゆっくりと、確実に症状が進んでいきました。

たまに私も家族連れ帰省した際に父が母にきつく当たっている姿を見て、今後どうしていったらいいのかをよく兄と相談していました。

そんな折に、先に書いた母の入院です。当時はかなり混乱してしまいましたが、この時すぐに動き、的確なアドバイスをして下さったのが担当のケアマネジャーでした。実家から離れて暮らす私とも密

に連絡を取ってくださり、福祉サービスの利用など、適切な選択肢をご提示いただきました。そして現在、母は兄家族の近所にある介護老人保健施設に入所しています。

左にある写真は先日父を連れて面会に行った際に撮らせて頂いた二人の写真です。

個人情報保護の為に顔は隠しましたが、二人共とても穏やかでいい笑顔をしていました。

父は一人になってしまい少し寂しそうにしていますが、母と距離が出来たおかげで、落ち着いて過ごしてくれています。母も入所先の施設でいつも笑顔で過ごしてくれているそうです。

一年前までは兄と共に「これからどうしたらいいのだろう」と不安を口にするだけでしたが、母の入院をきっかけに各介護サービスの方々のご支援のおかげで、今は家族皆、落ち着いた生活が出来ています。

もし、現在介護関係で悩まれたり躊躇されている方がおられましたらぜひ、地域の福祉課や地域包括支援センターに相談してみてください。何かを変える良いきっかけになるはずです。



田舎の風景



